



ALSOプロバイダーコース

～ 公立学校共済組合中国中央病院 ～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあり、1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで、筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれています。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、5年間有効の認証を受けることができます。

ALSOプロバイダーコースには、産婦人科医師、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医、研修医等、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療プロバイダーが参加しています。産科救急医療は、産婦人科医だけでは維持し続けることが難しい状況になりつつあります。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。その足がかりとなるトレーニングコースがALSOです。全ての産科医療に関わるプロバイダーの皆様のご参加をお待ちしております。

ALSO-Japan

セミナー	： ALSOプロバイダーコース
主催	： 公立学校共済組合中国中央病院
共催	： 県立広島病院・NPO法人周産期医療支援機構(OPPIC)
開催場所	： 公立学校共済組合中国中央病院講堂
開催日	： 平成30年11月10日(土)、11日(日) (二日間)
募集人数	： 20名(一般公募はありません)